

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月31日

事業所名 ファーストハンドHi!

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0	0	基本の部屋は1つで個別訓練を行う時は隣の部屋を使っている。それ以外にももう一部屋あるので十分なスペースがある	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0	0	利用児童別に担当決めはしているが、学校の教室形式で机を並べ、スタッフ全員で利用児童全員を見られるようラウンドしている。	スタッフの欠員が出た場合はサビ管等が対応する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	1	0	一番広いトイレにスロープを付け対応している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0	2	4	0	毎週火曜日にミーティングを行い、気になる利用児童の情報共有をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1	3	0	アンケート結果をスタッフ皆で共有している。また保護者の迎え時にその日の状況等伝え保護者の希望などあれば改善している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	0	ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	3	1		外部評価を検討する。但し石垣市にそのような対応事業所がないので今後は沖縄県内で検討してみる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	0	研修があれば全体に周知し、各部署で必ず一人参加するなど積極的に研修を受けている。また受講したスタッフはミーティングでその報告を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	2	1		現状は当社が使用している、ひな形のアセスメント様式で行っている。標準化されたアセスメントツールを購入しているの、内容を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3	0	0	毎週担当者が立案し他スタッフに周知している。	スタッフ全員が意見を出し合い、見直しなどあれば検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3	1	1	主に学習とグループ活動ですが、学習は学年や本人の力にあわせて対応している。グループ活動も一週間の予定を立て、利用人数によって臨機応変に対応している。	ミーティング時にグループ活動の内容を再度検討する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	1	0	グループ活動の時間を増やして定期的に行う運動や日々できない活動をスタッフで検討し生活に必要なとされるスキル等をプログラム内容に取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3	0	0	学習支援を必要としている利用者、生活スキルのレベルアップを必要としている利用者、各々検討しプログラムを検討している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	0	新しく利用開始の場合、利用者の個人ファイルをスタッフ全員で確認してミーティングで情報共有をしている。 支援内容の役割分担は担当者を当日決め確認作	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	1	0	その日の出来事を振り返り報告し情報共有をしている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月31日

事業所名 ファーストハンドHi!

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わか らない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	0	記録はサイボウズのアプリを使い日々の入力と保護者への連絡帳とともに行っている。記録内容をスタッフが確認し次回の支援につなげている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	0	0	6	0	相談支援事業所を通じてモニタリングは定期的に行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0	0		ガイドラインを意識して対応していく。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	4	0	1	サービス管理責任者が担当者会議に参加している。	サービス管理者だけではなく利用者を良く担当するスタッフも担当者会議に積極的に参加していく。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	1	2	3	0	年間行事や下校時間等は保護者を通じて連絡をもらっている。 年間行事はある程度HPより確認し連絡がない場合はこちらから確認の連絡をしている。	学校との情報共有はなかなか難しい。教育委員会に参加し、こちらの希望等は伝えた。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	0	1	1	アレルギーのある利用者は保護者より情報はもらい対応している。	重い医療的ケアが必要な利用者は現在はいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4	0	2		保育所、幼稚園等利用の対象児童がいない。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	3	0		事業所等からの連絡があれば対応している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	0		代表が対応しているのみとなり、ミーティングで情報共有を密にしている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	3	1		コロナ禍以前は良く行っていた。今後の様子を見て対応検討中である。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2	2	2		代表が対応しているのみとなり、ミーティングで情報共有を密にしている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	2	0	日々の送迎時に保護者に申し送りし、連絡帳にて情報提供をしている。来所お迎えの場合は担当者が直接状況を伝えている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	4	1	1	0		コロナ禍以前は行った事もあるが、行っていないので、様子を見ながら再度検討する。	
保	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	0	3	2	1	サービス管理責任者が最初の契約時に行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	1	0	メッセージアプリを使い日々困った事や相談などがあれば気軽に連絡できる体制をとっている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	0	希望がある場合、保護者同士の橋渡しをし個別で対応している。	コロナ禍以前はイベントを開催し保護者同士の情報交換等を行っていた。今後は様子を見て対応していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月31日

事業所名 ファーストハンドHi!

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わか らない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	1	0	苦情対応研修は受けているので、研修を受けたスタッフが対応したり、迅速に他スタッフとも情報共有し対応している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	0	会社のホームページと連動し、FacebookやInstagramにて日々の活動などを公開している。	
	35 個人情報に十分注意している	5	1	0	0	個人情報に関するファイル等は鍵のついたキャビネットに保管し対応中。	スタッフの日々の会話の中で利用者の個人情報が出る事もあるので、送迎完了後に行う事を徹底する。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0	2	2	2	利用者、保護者共に、相手に合わせた配慮として文字での伝達、言葉での伝達等を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3	0		コロナ禍のなか難しい事もあるが、地域住民を招待する事を保護者によっては嫌がる場合もあるので今後慎重に検討していく。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	0	0		マニュアルは策定していないが、定期的に訓練を行っている。その後、記録とともに反省会を行い改善している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3	1	0		地震、火災については訓練を行っている。その後、記録とともに反省会を行い改善している。今後は不審者対応訓練も行う事とする。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	2	3		虐待防止の研修は受けているスタッフもいるが、事業所の中で組織化して対応していく必要がある。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	0	0		現在必要とする対象の利用者はいない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	1	1	保護者との情報共有は行っており、スタッフ全員が見える所に掲示し対応している。医師の指示書はない。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	0	0	0	サイボウズのアプリを使い、事故につながるような事があれば、まず掲示板に提示し、しかるべき所にデータをまとめ共有している。	